

THE DAY



NEWS LETTER

May 1st, 2026 Noboru Morishige

YouTube 森繁昇チャンネル



友達、親戚、家族、兄弟姉妹、このレターを読んでもくださる皆さん 2026年5月1日

皆さん、元気におられるでしょうか？
皆さんが、元気におられることを心から願っています。今、心に浮かぶ皆さんのことを思い、皆さんに「また会いたいな〜」です。

歌 「たった一人で」

一人で しずかに 考えてごらん
たった一人で 考えてごらん
君にも きこえるだろう 小さな声が
たった一人で 耳をすましたら

野に咲く花は きよらかに咲くよ
誰も見ていなくても きれいに咲くよ
風が通り過ぎると もう花は そこにはないさ
その場所さえ その花を 覚えてはいない

野に咲く花は 神の恵みの中で
力の限りに 神をほめたたえ
み旨に従い そのわずかな日々に
神の御わざを 響き渡らせる

「マナ」(出エジプト記 16 : 31)

むかし、イスラエルの民が、日曜日以外、毎朝、出て行って集めた食べ物。この食べ物は、神が夜、露のように天から降らせたもので、家族の人数ごとに決まった量を集めるように言われていたもの。余分にとったものは、次の日まで残して

いたら(日曜日以外)腐ってしまったのです。それで、人々は、毎朝これを取りに行ったのです。当時、これが彼らの唯一の食べ物だったのです。

私ごとですが、以前、私は、「今日のマナ」と題して、聖書の言葉から日記のようなものを、しばらく書いていました。すると、なんと、よく同じ聖書の言葉から同じようなことを書いているのです。エーッ！また同じ話を書いているんや！と。そして、それがなんと、私の月々のレターにも表れるようになったのです。「うう…また同じような内容を書いたら悪いよな〜」て、思ったある日。

「そうやな〜。イスラエルの民は、毎日、同じマナを取りに行ったんやな〜。天から降らせてもらった同じ食べもん。それを食べて生きてたんや。そうやなあ。人も、毎朝、同じご飯やパンを食べるよなあ。何も考えんと食べるよな。食べん



かったら弱るし、食べなかったら死ぬよなあ。そうか、同じものでいいんや!!」と、悟らせてもらった～～！エッ？それで、今日書く内容も、同じでもええんや～！と、正しい言い訳をしているのです！ガッハーッ！お笑いでしょうが、人は、この食べ物はどうしても要ります!! 毎朝ご飯を食べるように、神の言葉を食べるとな。

「人に惑わされないように気をつけなさい」

この言葉は、イエスの弟子たちの、「…いつ、そのようなことが起こるのでしょうか。あなたの来られる時や世の終わりには、どんな前兆があるのでしょうか。」の質問に対してのイエスの最初の言葉です。

そのあと、こう続くのです。

「わたしの名を名のる者が、大ぜい現れ、『私こそキリストだ』と言って、多くの人を惑わすでしょう。また、戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょうが、気をつけて、あわてないようにしなさい。これらは必ず起こることです。しかし、終わりが来たものではありません。民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、方々にききんと地震が起こります。しかし、そのようなことはみな、産みの苦しみの初めなのです。そのとき、人々は、あなたがたを苦しいめに合わせ、殺します。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。また、そのときは、人々がだぜいつまずき、互いに裏切り、憎み合います。また、にせ預言者が多く起こって、多くの人々を惑わします。不法がはびこるので、多くの人たちの愛は冷たくなります。しかし、最後まで耐え忍ぶものは救われます。この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。」（マタイ 24：4～14）

これらがあえて起こることを許されたイエスの願いは、これらを通して、政治、経済、世界平和、学校教育、警察、病院、仕事等、その他、何にも、本当には頼れないこと、お金や名誉や地位

や持ち物、全て、そして、自分にも頼れない現実、自分の無力さ、自分自身だけでは絶望であることを考えさせようとしているように私には思えるのです。同時に、「聖書に記されていることが、本当かもしれない?」「聖書に記されている神の希望のゴスペルは本当なのか?」そのような思いが人の心に起こる神の計画のように私は感じるので。私自身、聖書に記されている全知全能の神を求める人が多く現れ、自分が神の前にどのような者であるかを人々が考える時が来ることを願っています。それは、人に対する「神の深い恵みとあわれみ」だと私は思います。

人はいつでも、イエスの救いの中に入れる状況にある

そのことは、今まで何度も書き、話してきたことです。ヨハネ 3：16 です。そして、それは、今です！そのことが、悪魔の支配の中にある邪悪な今の世での、たった一つの勝利の道です。それは、光が闇と遭遇すると、闇は逃げるしかありませんからです。光？それは、イエスです。人は、イエスをもらうのです。

全ての助けと解決は、天地を造られたイエスにある

あの山の上で、イエスが話し始めた四つ目のことです。

「義に飢え渴いている者は幸いです。その人は、満ち足りるからです。」

いつ？イエスの真理を知り、それを受け取る時です。

人は、神に似せて造られたので、神の思いがあります。善悪の判断ができるようになり、正しいことをしたいという願いをもらっていて、ある人々は、正義感が強いのです。罪人も罪人を裁きたいのです。

しかし、「罪人は罪人を正すことはできません」

イエスは、言われた。「さばいてはいけません。さばかれないためです。あなたがさばくそのとおりに、あなたもさばかれ、あなたが量るとお

りに、あなたがたも量られるからです。

また、なぜあなたがたは、兄弟の目の中のちりに目をつけるが、自分の目の中の梁には気がつかないのですか。兄弟に向かって、『あなたの目のちりを取らせてください』などどうして言うのですか。見なさい、自分の目には梁があるではありませんか。偽善者たち。まず自分の目から梁を取りのけなさい。そうすれば、はっきり見えて、兄弟の目からも、ちりを取り除くことができます。」（マタイ7：1～5）

イエスを知りたいと求めるまで、罪人（神を知らない者）は、自分の内に、梁・罪があることに、本当には気がつかないのです。その者に、他の人の内にあるちり・罪を取り除くことはできないのです。そのことを、「だれもそれをするとはできない」とイエスが優しく言っているのです。それは、ただイエスだけがすることだからです。で、あのことばです。

「義に飢え渴いている者は幸いです。その人は満ち足りるからです。」

心一つで、イエスに全ての罪を赦され、きよくされ、神の義（神の正しさ）をもらい、その後で、初めて、イエスに用いられる可能性が始まるのです。

神からの役割

悪魔の支配下にあるこの世、この世界の中で、イエスからそれぞれの役割が、それぞれの神の子どもに与えられています。その役割には、その人の人生がかかりますが、ある人には命がかかる時もあるのです。神の子どもの人生は、どれも、神の栄光なのです。

罪人が罪人を正す時

人は、あの時、すなわち、アダムとイブが神に逆らった時、神の言われたように死んだのです。そして、神からもらった霊をなくし、その後、悪魔に騙され続けて今日に至ったのです。それで、自分が霊的に死んでいることと、自分が悪魔に騙されていることを、人は、知らないのです！

その罪人が、他の罪人の邪悪を追求して公にし、裁きを下そうとすなら、時には、悪魔はその邪悪な者をさらに邪悪にして、裁こうとする者に害を与えたり、ついには、その者を消し去る可能性が十分あります。悪魔の邪悪さは、とどまるところがないのです。それらのことが昔から行われていて、現在、公の情報として多くの人々に知らされてきていると私は思います。そして、神と悪魔、善と悪、光と闇、正義と邪悪の現実が、ますます人々の間で感じられるようになっていきます。

それらについて、イエスの言葉にこうあります。イエスは良い牧者であり、悪魔は盗人です。

「盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのち（神の霊によって新しく生まれた命）を得、またそれを豊かに持つ（神が本来人に与えようとした人生をする）ためです。わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のために命を捨てます。」（ヨハネ10：10～11）

これまで書いてきたように、いつでも、全ての人に、悪魔に勝利する道が、イエスによって開かれています。

希望は、絶望の中に、それを求める人によって見出されるのです。「捜しなさい。そうすれば見つけられます。」（マタイ7：7）の通りです。

復習

先月のレターにも書きましたが、イエスに罪を赦される時、人は、再び神の霊が与えられて、神の霊で新しく生まれるのです（ヨハネ3：5）。そして、神の力によって神の子どもとされ、再び「生きた人」（創世記2：7）となるのです。アダムとイブが神に逆らう前の、神と人との関係になるのです。

これが、悪魔に勝利する、神の道です。

そして、誰も、また何も、イエスと神の子どもの愛の関係を、引き離すことはできないのです。（ローマ8：32～39）

兄弟姉妹たちへ

当時、イエスから役割をもらっていた兄弟パウロが、イエスの御心によって、兄弟姉妹たちを励ます手紙を書いた言葉です。そして、イエスは、その言葉を通して、今日も私たちに語ります。(エペソ 6:10~20)

これらの言葉は、まさに今の時代、現実に対応する励ましの言葉だと私は実感します。

「終わりに言います。

主(私たちの造り主・イエス、私たちの救い主・イエス) にあって、その大能の力によって強められなさい。(be strong in the Lord and in His mighty power) 悪魔の策略に対して立ち向かうことができるために、神のすべての武具を身につけなさい。

私たちの格闘 (struggles、奮闘) は血肉に対するものでなく、主権 (against the rulers この世をコントロールしているもの)、力 (against the authorities、この世をコントロールしている悪の力) この暗やみの世界の支配者たち (against the powers of this dark world、この闇の世界をコントロールしている力) また、天にいるもろもろの悪霊 (against the spiritual forces of evil in the heavenly realms・天界の悪の霊的な力) に対するものです。

ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、いっさいを成し遂げて、堅く立つことができるように、神のすべての武具をとりなさい。

では、しっかりと立ちなさい。腰には真理の帯 (イエス自身) を締め、胸には正義 (イエスを信じることを通してもらった神の正しさ) の胸当てを着け、足には平和の福音の備え (イエスの救いの福音をよく知って、それを人々と分かち合える準備している) をはきなさい。

これら全てのものの上に、信仰 (聖霊の力によってイエスとイエスの言葉を信頼している) の大盾を取りなさい。それによって、悪い者が放つ火矢を、みな消すことができます。

救いのかぶとをかぶり、また御霊の与える剣である、神のことばを受け取りなさい。

すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさまして、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。

また、私が口を開くとき、語るべきことばがあたえられ、福音の奥義 (ミステリー・人知を超えた神の真理) を大胆に知らせることができるように私のためにも祈ってください。」

(エペソ 6:10~19)



5月のLIVE Information

5月にいくつかコンサートがあります。近くであるようでしたら、友達を誘って聞きに来てください。

5月7日(木) 12:25 ~ 12:40	関東学院大学チャペルタイム	金沢八景キャンパス	045-786-7218
5月8日(金) 12:35 ~ 12:55	関東学院大学チャペルタイム	金沢八景(室の木)キャンパス	
		〒236-8501 横浜市金沢区六浦東 1-50-1	045-786-7218
5月13日(水) 17:00 ~ 18:30	大阪救霊会館	大阪西成あいりん地区	06-6632-5820

ザ・デイ / 森繁 昇

〒744-0019 山口県下松市桜町2丁目17-24
FAX▶0833-91-6492
E-mail▶thewindblowing@hotmail.com
振替口座▶01330-4-93687 ザ・デイ

HP / thedaywill.com

Noboru Morishige
P.O.BOX 1666
KEAAU, HAWAII 96749 U.S.A
TEL ▶808-966-9252

